



阿南高等学校 校歌

一 峰より峰に 雲は深く

谷より谷へ 水はたぎつ

見よ今風はれ 空輝やき

さざ波清く たたえたり

学べば自由の 天地開けて

ここに阿南の 文化あり

二 丘には 桜椿照りて

芭蕉も棕櫚も 茂りあえり

ゆたけき茎穂の 稲かざして

白亜の校舎 仰ぐとき

あふるる希望よ 常に新たに

明日の使命と 世界あり

阿南よ誇れ 高校の

その名にこぞる われらあり

土岐善麿 作詞
信時 潔 作曲

第一 応援歌（遥かなる栄光）

一 遙かなる 栄光を胸に

南宮の 丘に集いて

烈日の 下に集いて

黙々と 励みの日には

訪れぬ 友の希望を

起つて 希望を

阿南の 希望を

赤石を 高く仰ぎて

積みし 意辛くは

見よ固き 門戸は常に

勝利への 門戸は常に

開かれ 門戸は常に

ゆけよ 門戸は常に

張るよ 門戸は常に

東南西北に 野を遠く征む

力ある 君の 龍の 中

争うは 龍の 中

風を巻く 嵐の中

闘えよ 希望に

阿南の 希望に

白雲は 遠く流れて

陽に 輝きぬ

三 阿南の 希望に

お光を 輝きぬ

お光を 輝きぬ

お光を 輝きぬ

お光を 輝きぬ

お光を 輝きぬ

お光を 輝きぬ

お光を 輝きぬ

お光を 輝きぬ

お光を 輝きぬ

金田 博澄 作詞
塩沢 真澄 作曲

第二応援歌（いざ起て選手）

一 いざ立て選手雲をつけ

競う嵐のその中に

わが高校の旗の為

花は吹雪にまかすとも

犠牲の血潮に洗うとも

二 続くぞ行くぞ応援歌

根城にせまれわが選手

かしこに陣羅攻太鼓

此処に矢叫びときの声

天に凱歌の響きあり

第三応援歌（秋空高く）

一 秋空高く風さわやか

天鳥駆りトンボとぶ

健児五百の鉄腕に

綴り繰り展たる体育の

絵巻さんたり

ああ我等若人

意気に燃ゆ

二 天竜川の川波は

熊伏山の影映し

千尋の底の珠探る

いざゆけ友よ栄冠への

絵巻さんたり

ああ我等若人

雄叫びす

唐沢 勉三 作詞
塩沢 真澄 作曲

阿南高等学校賛歌

作詞 水野都沚生 (国語教諭)
作曲 久保田創二

一 征く水遠き天竜の

清き流れに見はるかす

南アの尾根を仰ぎつつ

阿南学徒が鍛えきし

この鉄腕の逞しさ

見よ漕ぐ力 見よ滑る艇

* 栄冠つねにわれにあり

二

吹く風ゆるき南宮の

この山峡にはぐくまれ

迎えし春秋いくたびぞ

阿南学徒が努めきし

この健脚の素晴らしさ

見よ踏む力 見よ駆ける足

三

飛ぶ雲速き熊伏の

冷たき風とたぎつ瀬の

ダム湖の湖面の夕光り

阿南学徒が眺めきし

この生命のかぐわしさ

見よ張る力きけ叫ぶ声

四

ああと永遠に聳え立つ
この学び舎にこの庭に

集い散りゆく若人よ
阿南学徒が築ききし
この伝統の誇らしさ
見よ十周年 見よ栄ゆる年
* (同じ)

阿南クルーの歌

作詞 水野都沚生 (国語教諭)
作曲 古池 充 (音楽教諭)

一 我ら阿南のボートマン 桜吹雪を見に浴びて

オール引く手に夢がわく (繰り返す)

* トラトララ阿南 トラトララ阿南

阿南クルー

二 我ら阿南のボートマン 青い嵐に胸を張り

オールも折れよとグット漕ぐ (繰り返す)

* (同じ)

三 我ら信濃のボートマン 峡の紅葉も色添えて

オール持つ手に照り映る (繰り返す)

* (同じ)

四 我ら阿南のボートマン みぞれも雪も何のその

オール持つ手に汗が散る (繰り返す)

* (同じ)